

位置図

S=1:5000 (A3)

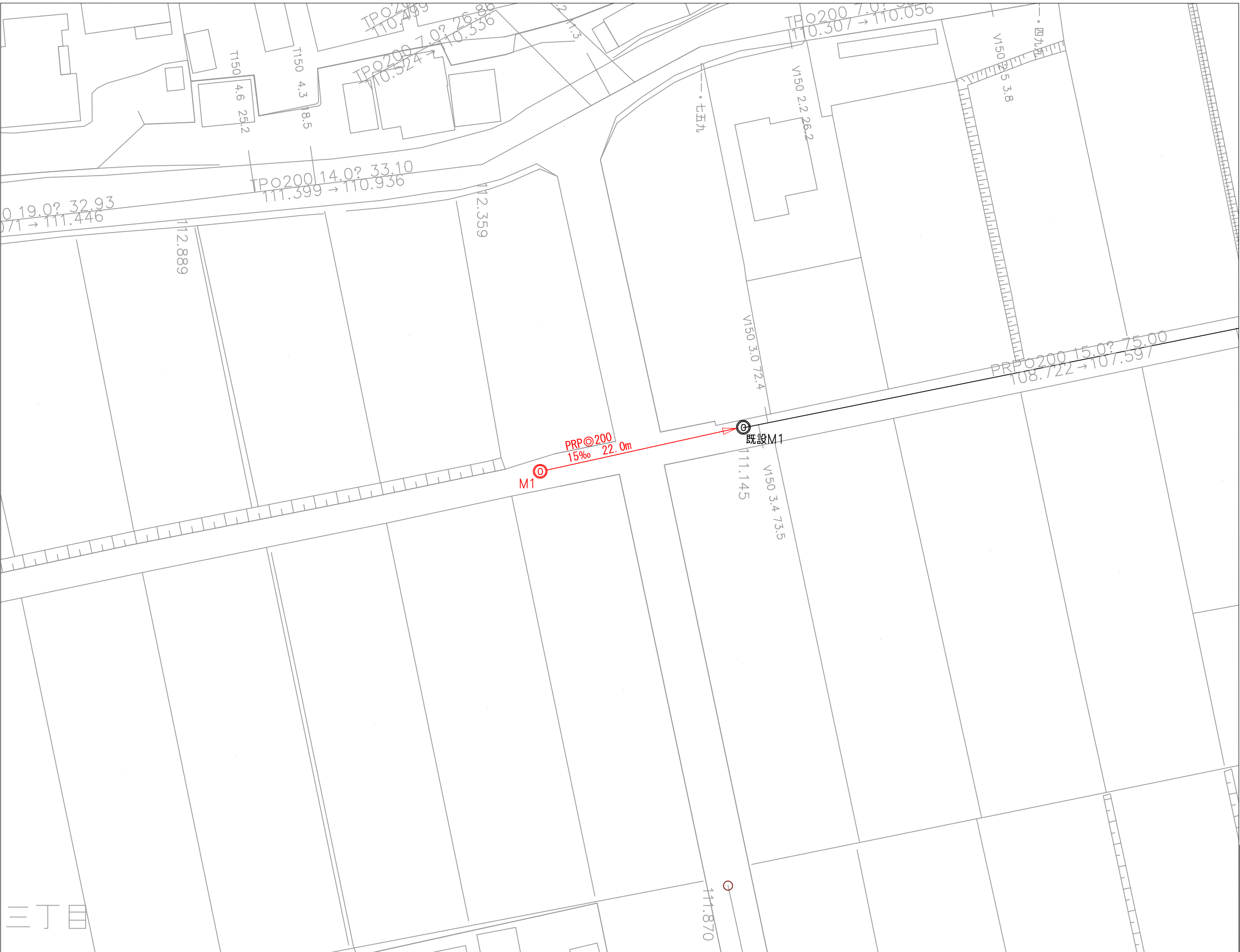
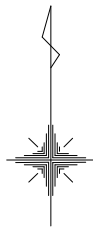
工事箇所

工事名	公下管第2-2号 小泉第4污水支線管渠埋設工事		
図面名	位置図		
年度	令和7年度		
尺度	1:5000 (A3)	図面番号	葉之内
事業名	公共下水道事業		
事務所	多治見市役所 上下水道工務課		



平面図

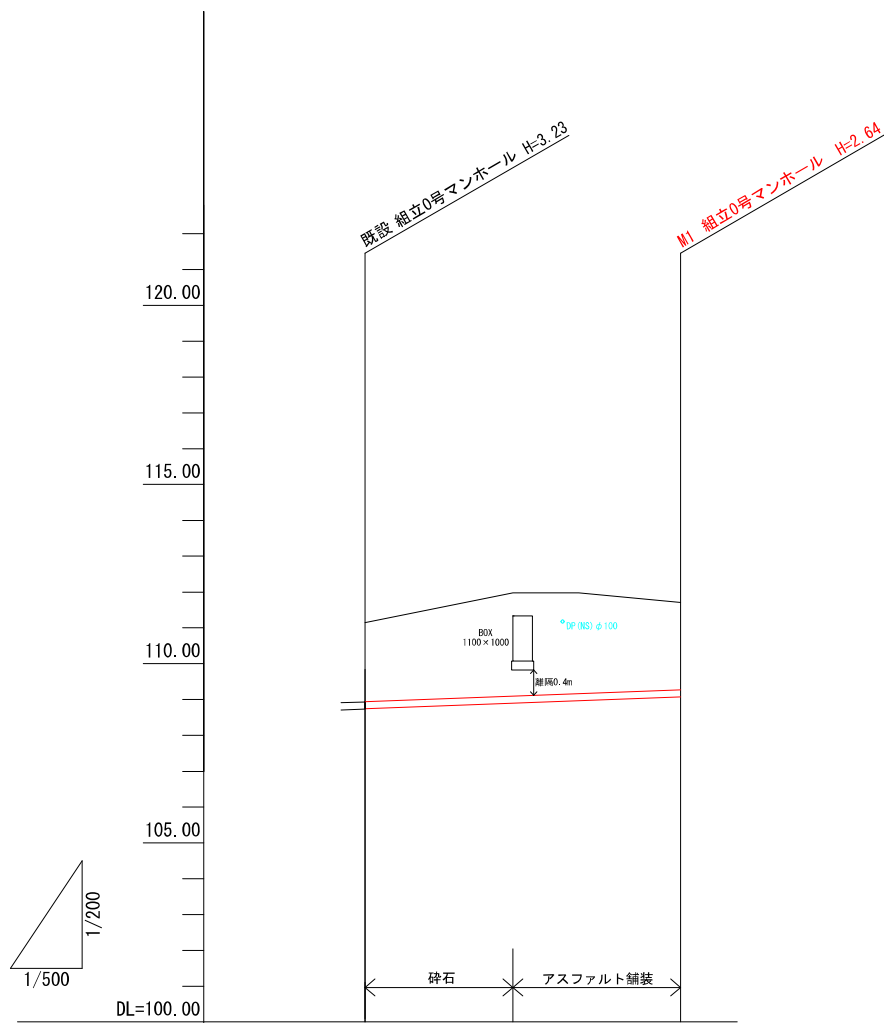
S=1:200 (A3)



三丁目

工事名	公下管第2-2号 小泉第4汚水支線管渠埋設工事		
図面名	平面図		
年度	令和7年度		
尺度	1:200 (A3)	図面番号	葉之内
事業名	公共下水道事業		
事務所	多治見市役所 上下水道工務課		

縦断面図



路線番号			
管径		PRP@200	
勾配	15.0‰	15.0‰	
土被り	2.21	3.03	2.43
人孔深	2.42	3.24	2.64
掘削深	2.52	3.33	2.73
管底高	108.722 108.742		109.072
地盤高	111.145		111.710
追加距離	0.00		22.0
距離	0.00		22.0

工 事 名	公下管第2-2号 小泉第4污水支線管渠埋設工事		
図 面 名	縦断面図		
年 月 日	令和7年度		
尺 度	図面番号	業之内	
事 業 名	公共下水道事業		
事務所名	多治見市役所 上下水道工務課		

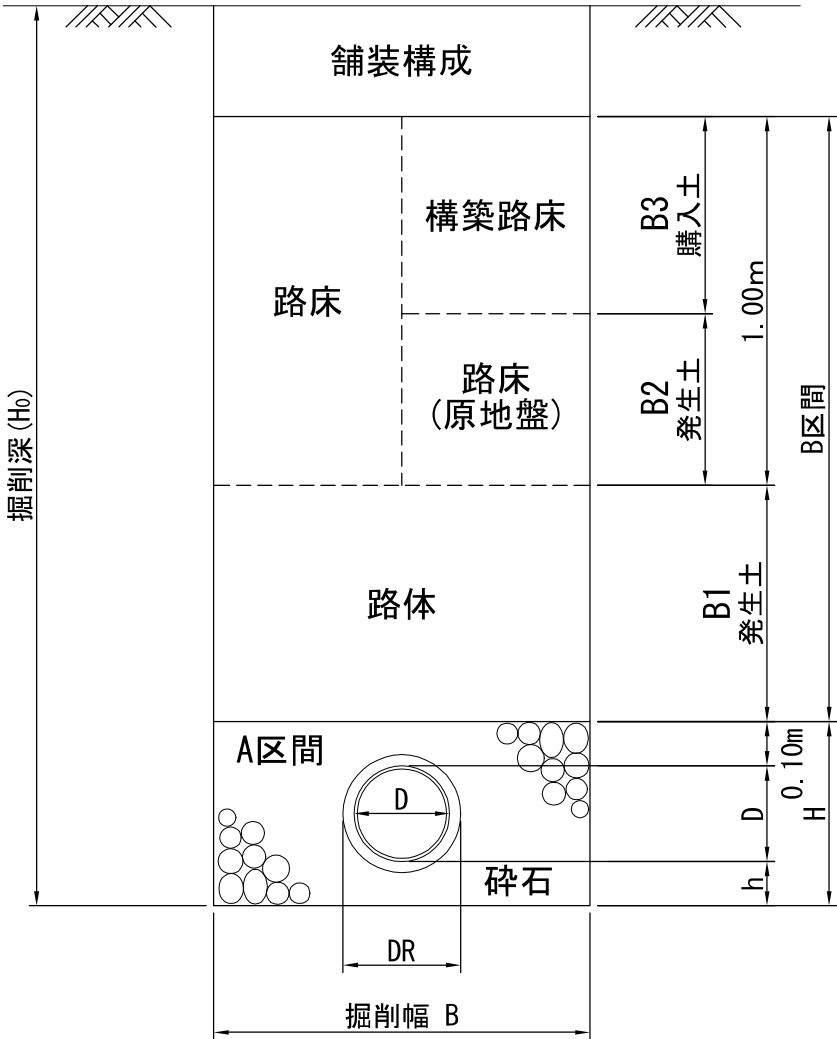
リブ付硬質塩化ビニル管布設標準図

(JSWAS K-13 呼び径150～300mm)

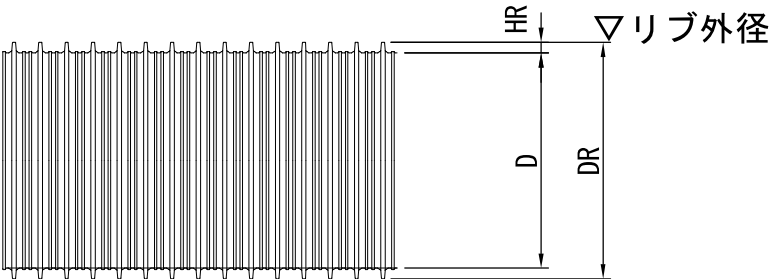
【一般事項】 JSWAS規格に基づき施工すること

【特記事項】

- ①可とう継手は管種別標準図を参照すること
- ②注 1) に示す施工管理を行うこと



注 1) 土被りの計測は地表からリブ外径となるため、HRを付加すること



呼び径	リブ外径 DR (mm)	リブ高さ HR (mm)
150	171	8
200	229	12
250	286	15
300	344	18

呼び径	管外径 D (mm)	管厚 t (mm)	掘削幅 B (m)			砕石基礎		A区間 (m <sup>3</sup> /m)		
			H <sub>0</sub> < 1.5m	1.5m ≤ H <sub>0</sub> < 3.5m	3.5m ≤ H <sub>0</sub> < 6.0m	h (m)	H (m)	H <sub>0</sub> < 1.5m	1.5m ≤ H <sub>0</sub> < 3.5m	3.5m ≤ H <sub>0</sub> < 6.0m
150	156	3	0.70	0.85	0.90	0.10	0.36	0.233	0.287	0.305
200	206	3	0.75	0.90	0.95	0.10	0.41	0.274	0.336	0.356
250	256	3	0.80	0.95	1.00	0.10	0.46	0.317	0.386	0.409
300	307	3	0.85	1.00	1.10	0.10	0.51	0.359	0.436	0.487
*姫地区の最大計画管径は300										

$$A\text{区間} = B \times H - \pi / 4 \times (D / 1000)^2$$

工事番号	
工 事 名	
図 面 名	リブ付硬質塩化ビニル管布設標準図
年 度	
尺 度	S=Free 図面番号 業之内
事務所名	多治見市水道部工事課

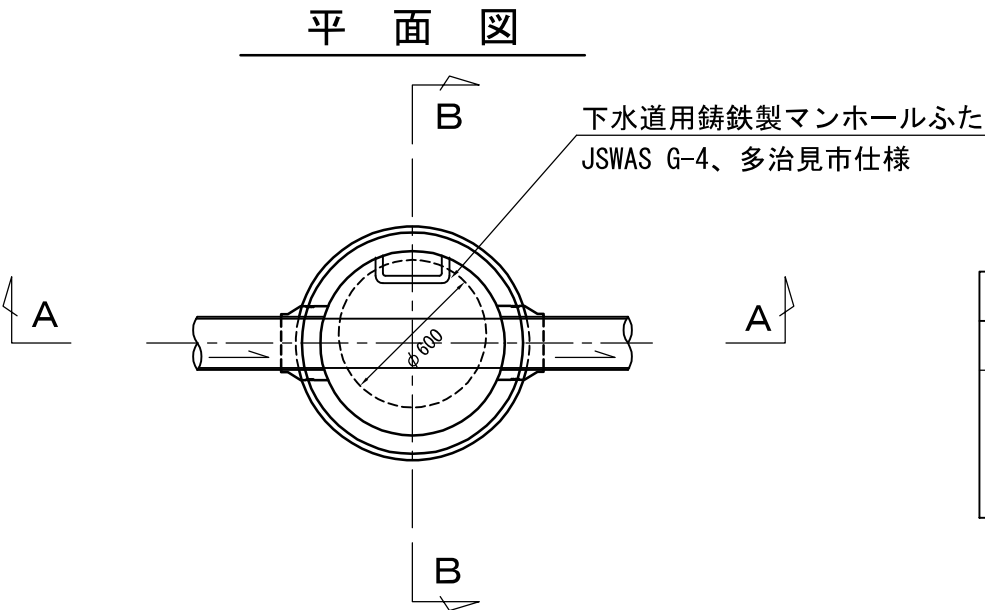
組立 0 号マンホール構造標準図

(JSWAS A-11 内径750mm円形)

【一般事項】 JSWAS規格に基づき施工すること

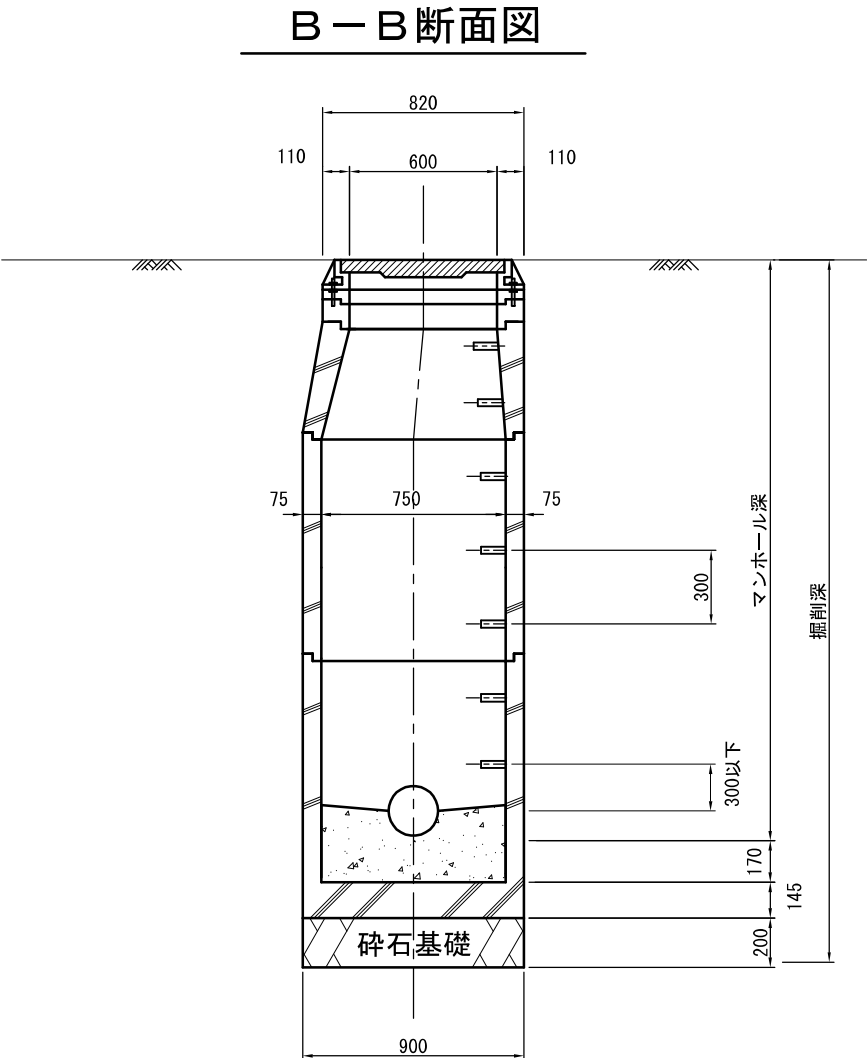
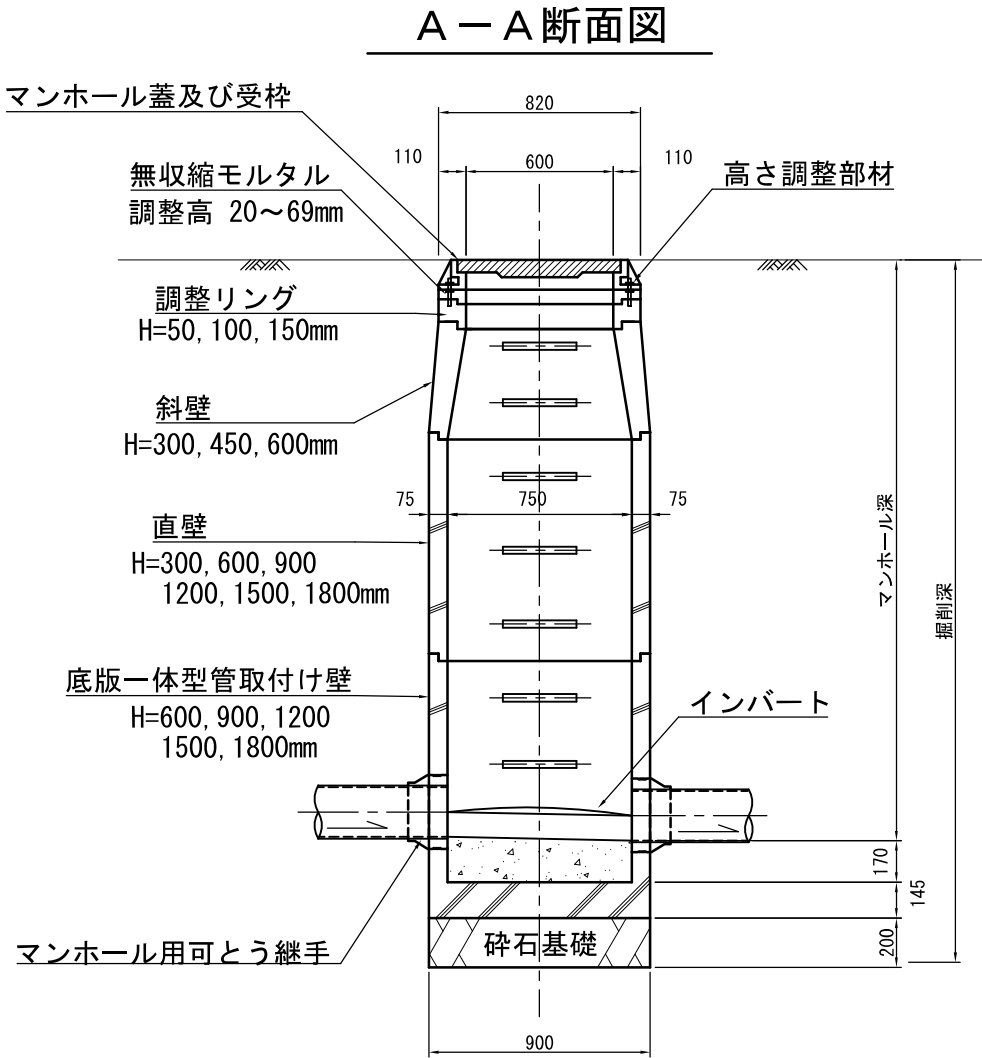
【特記事項】

マンホール鉄蓋の開閉方向は、原則路側方向とする。マンホールステップの設置も同様とし、管路の上に取り付けないこと。  
これによらない場合は、別途協議すること。



1ヶ所当り				
工 種	名 称	規 格	計 算 式	一 般 式
碎石基礎	再生碎石	C-40又はRC-40	$\pi/4 \times 0.90^2$	0.636 m <sup>2</sup>
インバート	型 枠		$\pi \times D/2 \times 0.75$	1.100 × D m <sup>2</sup>
	コンクリート	18-8-40	$\pi/4 \times 0.75^2 \times (D/2 + 0.17) - \pi/4 \times D^2/2 \times 0.75$	0.075 + 0.221 × D - 0.295 × D <sup>2</sup> m <sup>3</sup>
	上塗モルタル	配合1:2, t=20	$\pi/4 \times 0.75^2 - 0.75 \times D + \pi/2 \times D \times 0.75$	0.442 + 0.428 × D m <sup>2</sup>

※ Dは内径を表す。



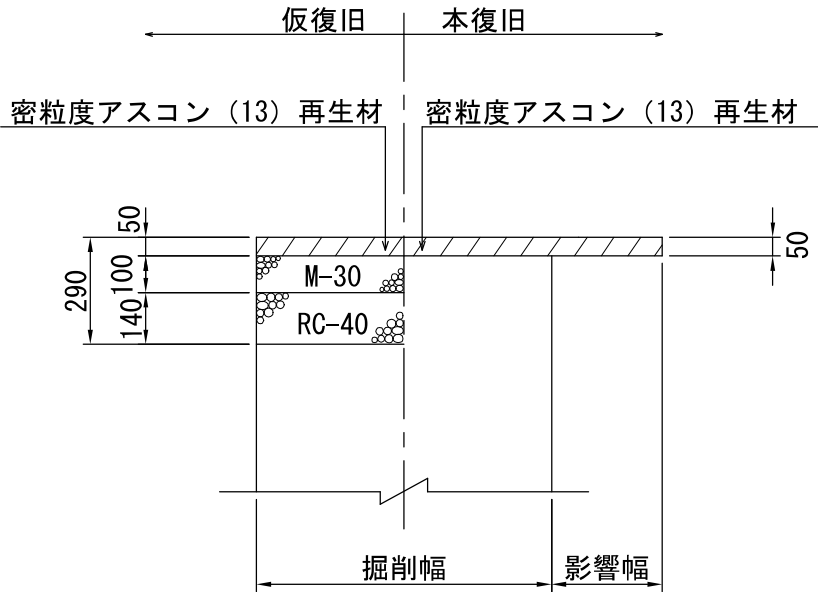
工 事 名	
図 面 名	組立 0 号マンホール構造標準図
年 月 日	
尺 度	S=Free 図面番号 葉之内
会 社 名	
事務所名	多治見市水道部下水道課

- 【一般事項】
- 【特記事項】
- ①施工時に現場CBRを確認すること
- ②現況の舗装構成を確認すること

舗装構成図

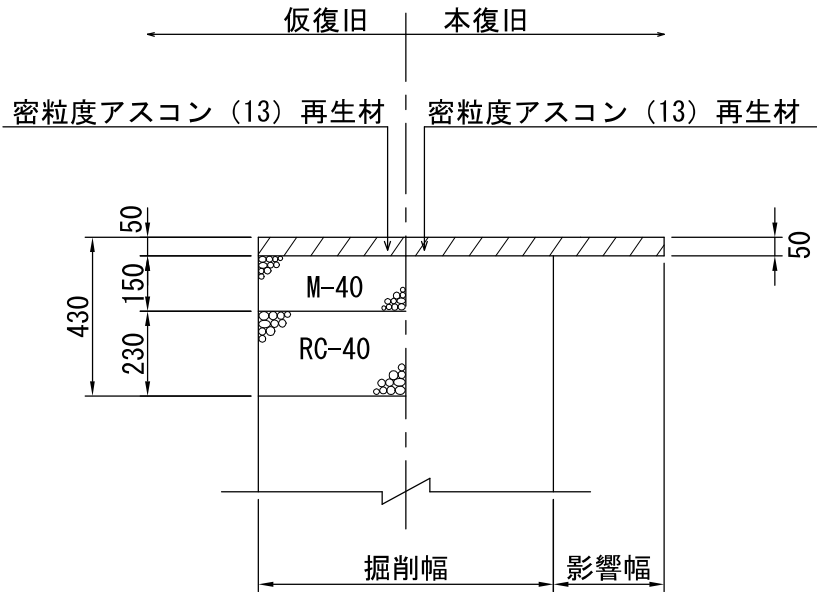
L 交通 設計CBR 6 以上

舗装計画交通量 T<100



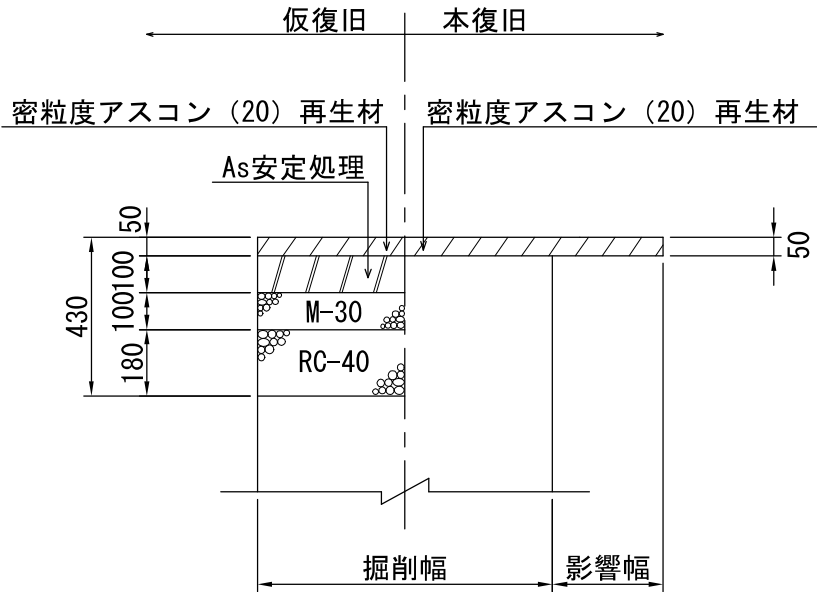
A 交通 設計CBR 6 以上

舗装計画交通量 100≤T<250



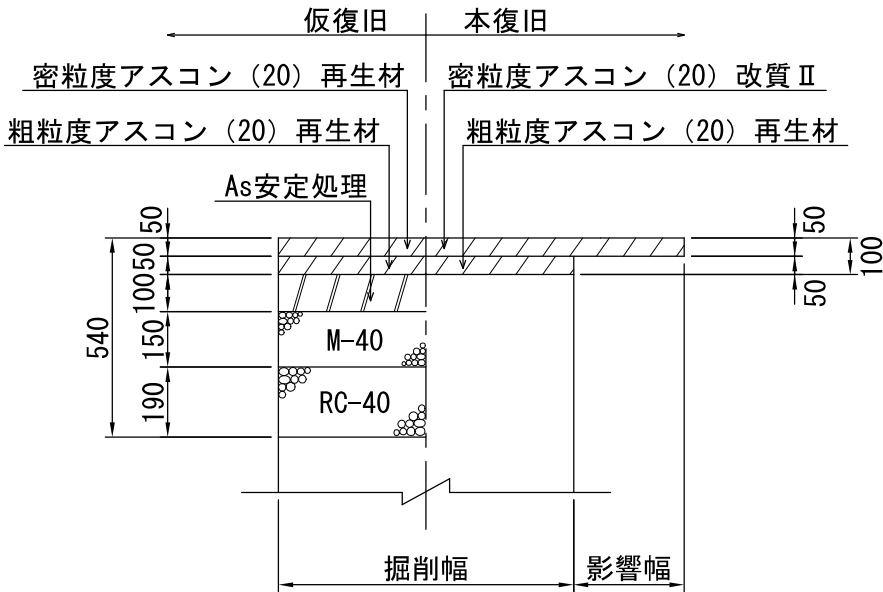
B 交通 設計CBR 6 以上

舗装計画交通量 250≤T<1,000

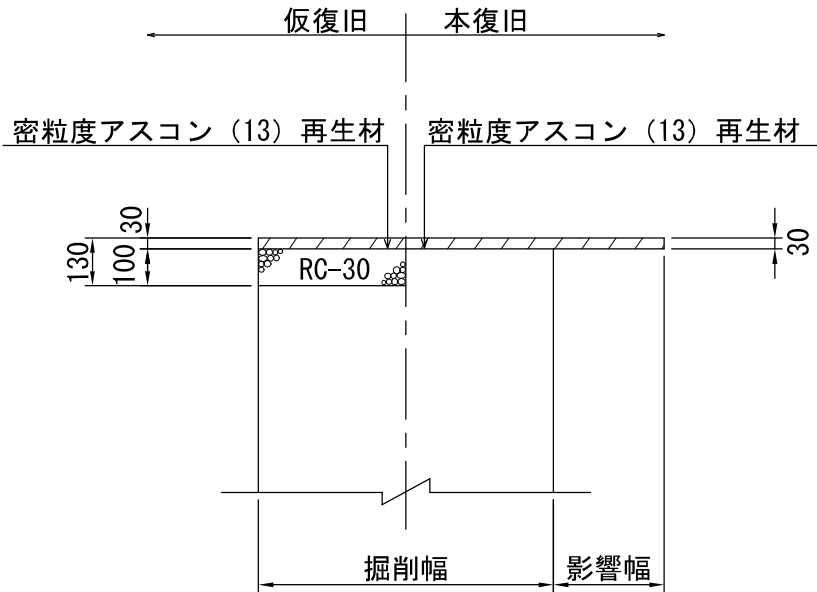


C 交通 設計CBR 6 以上

舗装計画交通量 1,000≤T<3,000



歩道



工事番号	
工事名	
図面名	舗装構成図
年度	
尺度	S=Free
図面番号	
業務所名	多治見市水道部工事課